

令和7年度 定例県議会 知事提案事項説明要旨〔抜粋〕

令和7年6月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルートについて申し上げます。

全国の整備新幹線の状況をみますと、北陸新幹線敦賀-新大阪間については、フル規格での早期整備で、地元での合意形成及び与党プロジェクトチームの決定を経ていたにも関わらず、現在、ルートを含めて沿線自治体などの関係者から、様々な意見が出ております。北海道新幹線新函館北斗-札幌間については、着工後にも関わらず、トンネル工事の想定外の遅れから、目標としていた令和12年度末の開業が先送りになりました。整備新幹線にはスキームも含めて様々な課題があると考えており、他地域の動向等も見据えながら、慎重に議論してまいります。

令和7年9月定例県議会

次に、九州新幹線西九州ルートについて申し上げます。

8月19日に、長崎県の大石知事、JR九州の古宮社長、私の三者で意見交換を行いました。合意していたにも関わらずフリーゲージトレインの導入を断念した国の責任を三者で確認し、引き続き地元三者で意見交換していくこととしております。もしフル規格で何かを行うのであればフリーゲージトレインではない新しい話としてしっかりと地元三者で合意した上で進めなければならないことを私は申し上げました。北陸新幹線は整備内容について地元での合意形成及び与党プロジェクトチームの決定を経ていたにも関わらず、現在、財政負担やルートなどについて沿線自治体や議会、住民からそれぞれの立場で様々な声があがっております。ルートの再検証の動きも出てきており、様々な問題が顕在化しています。このような状況をみましても、一つ一つ丁寧に地元で合意形成してい

くことが大切だと考えております。引き続き他地域の動向等も見据えながら、慎重に議論してまいります。